

## 令和3年度 第12回部長会（概要報告）

- ・日 時 令和4年3月2日（水）午前9時00分～
- ・場 所 八尾市役所第2委員会室
- ・出席者 市長・副市長・教育長・病院事業管理者・水道事業管理者・各部局長・理事等

### 【市長あいさつ】

皆さん、おはようございます。お忙しい中、令和3年度第12回部長会にお集まりいただき、大変ご苦労様です。

さて、新型コロナウイルス感染症を巡っては、新規陽性者数は減少傾向が見られるものの、減少速度は緩やかで、全国的に再び増加傾向に転じる可能性もあると指摘されています。大阪府においては、医療体制のひっ迫が続く中、再度、まん延防止等重点措置の延長を国に要請しており、予断を許さない状況が続いております。

現在、感染拡大と重症化を防ぐため、国を挙げてワクチン3回目接種の加速化を進めています。希望する市民に速やかに接種していただけるよう、市民に寄り添いながら、事業を進めるようお願いいたします。

感染拡大が長期にわたり、保健所を中心とした担当部局の皆さんには、昼夜を問わず懸命に対応していただいていることに、改めて感謝いたします。あわせて、保健所への応援をお願いしている各部局の職員の皆さんには、大変ご苦労をお掛けしております。市民の命を守り、この危機を乗り越えるために、引き続きオール八尾市で臨んでいただくようお願いしておきます。

次に、本日は実質的に令和3年度最後の部長会となります。今年度をもって定年退職される職員は、全庁で29人と聞いております。長らく、本市に奉職し、本市の発展にご尽力いただき、心から深く敬意を表す次第です。退職まであと少しとなりましたが、皆さんのご経験をぜひとも後輩職員に伝えていただきますようお願い申し上げます。

市議会3月定例会が始まっております。この間、予算の編成や市政運営方針の策定など、職員の皆さんのご尽力に感謝しています。3月末まで、長期間の会期となりますが、各会計の新年度予算などの審査にあたっては、簡潔明瞭に自信をもって説明を尽くされますよう、お願いしておきます。

最後に、年度末に向けて、業務が忙しくなるかと思えます。季節の変わり目でもありますので、職員の皆さんは、体調に十分ご留意いただきますようお願いいたします。

### 案件

#### 1 包括外部監査の結果に基づき講じた措置について

政策企画部長

包括外部監査の結果等につきましては、各所管において改善に取り組んでいただいているところです。包括外部監査の結果に基づき、本年1月20日までに講じた改善措置等の内容につきまして、例年は監査委員への通知後、3月部長会にてご報告させていただいておりますが、今年度につきましては、会議日程の都合上、本日の午後に、監査委員へ通知を行う予定です。

つきましては、本日の部長会では、内容をご報告させていただくことができないため、監査委員への通知の後、共通ライブラリに講じた改善措置等の内容を掲載し、各部局長へお知らせすることで、報告にかえさせていただきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

なお、本件につきましては、3月の総務常任委員協議会においても、報告する予定です。

また、各部局におかれましては、結果に対する措置だけでなく、意見に対する対応につきましても、前向きな検討・改善に尽力をいただいているところではございますが、迅速な対応と市民に対する説明責任が十分果たせますよう、今後も引き続き積極的に検討を進め、新たな取り組みや動向等について、ご報告をいただきますようお願いいたします。

## 特に意見なし

その他、築山総務部長より、管理職昇任考査の最終合格者を3月23日に各部局長に通知する旨の報告があった。

次に植島副市長から以下の発言があった。

コロナ感染について、最前線で業務にあたっておられる保健所の皆さんにはご苦労をかけている。また各部局から保健所に対して応援協力いただき感謝申し上げます。感染対応も進歩しており、国の人材バンクからの専門職の派遣、医師会への協力要請、システム増強、コールセンター設置など新たな改善がなされている。感染状況についてピークは過ぎたものの、しばらくこの状況が続くと考えられるため、全職員が一丸となってこの危機事象を乗り越え、今後の対応に活かせるよう引き続き協力をいただきたい。

ワクチンについては、3回目接種が始まり、2回目接種後6か月経過前に接種券を送付している。ワクチン供給についても個別院所や集団接種で対応する体制をとっており、これから新たに5歳から11歳の接種も始まる。すべての対象者に接種券を送付し、小児科23箇所を中心に接種の体制を整えている。

令和3年度の包括外部監査で具体的に指摘された委託契約の執行に関する指摘事項についてはスピード感をもって対応してもらいたい。令和4年度についても包括外部監査の報告書の中身を十分精査して、対応可能なものは速やかに対応し、時間がかかるものはスケジュール感を持って、対応していただきたい。4月からは電子決裁も始まるが、スムーズに対応していただきたい。

これから常任委員会が始まり令和4年度の様々な事業について議会の審査をいただき、4月以降それらの事業をしっかりと取り組んでもらうことになる。この間、本会議の代表質問、個人質問でもあったが、計画性を持ち、目標を設定して何をいつまでにやるかをしっかりと定めていくことが重要である。

新年度になれば、各部局に取り組んでもらうミッションを市長から指示される予定である。4月以降も各部局で必要な事業についてスケジュール感を持って、具体的にいつまでに達成するのかということを明確にしていきたい。4月以降、市長との面談の場を設け、報告していただくので準備をお願いする。

最後に大松市長から以下の発言があった。

新型コロナ対応については、国の方針に大きく左右される。新型コロナ対応の内容については、第5波までと同様の対応で第6波を迎えているが、第6波はこれまでの感染状況をはるかに超えている状況の中、同じ対応はいかなるものかという要望を中核市市長会からあげている。保健所業務を圧迫しており、この点、私から代議士を通じて課題提起している。これを受け、先日、東京から厚生労働省の技官に保健所に来てもらい、現場の状況について説明しました。

厚生労働省も認識は同じであったが、決断するのは政府であるため、今後も私から国に対してもしっかりと要望していきます。みなさんとともにこの難局を乗り越えていきたいと考えているので、引き続きご協力をいただきたい。